

小林公民館主催事業

サークル体験講座「ミュージックベル」

実施日：1月24日（木） 参加者：計8名

現在、小林公民館で活動しているサークルの体験講座を実施しました。

今回は、ミュージックベルの鳴らし方や素敵な音を楽しんでいただくとともに演奏を体験していただくことを目的に実施しました。



講師は、小林北在住の音楽家で、ピアノ、コーラス、歌、ミュージックベルなどの指導をされている木村奈緒美先生にお願いしました。また、地域の催し、幼稚園、介護施設などで、演奏を行っているミュージックベルのサークル「リングングハート」のみなさんにもご協力いただきました。初めに、先生からハンドベルとミュージックベルの違いについてお話がありました。

ハンドベルは、17世紀イギリスで生まれ、とても値段が高く大変重い楽器であったため大人でないと鳴らすことができませんでした。ミュージックベルは、日本で考案されたもので、軽量で誰でも気軽に楽しめる楽器だそうです。

次にベルの持ち方や鳴らし方について説明がありました。

基本奏法は、釘を打つように鳴らし、歯切れのよい音がする「くぎ打ち奏法」です。余韻奏法は、くぎ打ち奏法の後、腕を前に押し出すイメージで音を響かせる「サスティン奏法」です。音量も大きく華やかにするには、手首をやわらかくしてバイバイするように振るトレモロ奏法です。説明の後、実際にミュージックベルを鳴らしさまざまな鳴らし方を体験しました。



次に担当を決めて、譜面に印をつけ、ドレミの歌、オーラ・リー、きらきら星をリングングハートの皆さんの協力をいただき、演奏しました。初めてですが、みなさんととても上手に演奏ができました。

次に和音で、よろこびの歌を演奏しました。この曲は、二人の呼吸が合わない
と綺麗な音に聞こえません。何回も練習し、アイコンタクトをとって、演奏しました。間違えないで最後まで演奏できたときは、思わずみんなで拍手をしました。最後にリングングハートによる「イッツアスモールワールド」の演奏に受講者のみなさんは、感動していました。みんなで力を合わせてひとつの曲を作り上げることで、一体感が生まれ、受講者同士も打ち解けた雰囲気でもミュージックベルを楽しめたようでした。

ミュージックベルの素敵な音が心に残る講座でした。

